

協議主題 2 (概要)

協議主題 2 指導計画の作成、保育の展開、指導の過程の評価・改善について	(協議の視点①) ① 幼児の発達に即して一人一人の幼児が幼児期にふさわしい生活を展開し、必要な体験を得られるように指導計画を作成するには、どのような工夫が必要か。
---	--

1 実践報告の概要

【三原市立沼田東幼稚園】

① 研究主題

幼児一人一人の遊びの充実をめざして～幼児を理解するための方法の工夫～

② 実践報告の概要

昨年度、自ら周りの環境に関わり夢中になって遊びを楽しむ幼児の姿を見取り、幼児の思いに寄り添いながら実践してきた。しかし、複式クラスでの遊びの際には、年齢や発達、経験に差があり、遊びを十分に楽しめていない幼児の姿が見られ、幼児の姿に沿った活動内容や環境構成、援助をするために改めて「個」を見つめていく必要性に気付いた。そこで今年度は、昨年度の課題を踏まえ一人一人の幼児を理解していくことが全ての土台となると考え、内面や育ちを丁寧に見つめ、多面的に理解していくこと、幼児を中心に捉えた保育を展開すること、幼児の姿に沿った活動内容や環境構成、援助の工夫をすることとして研究主題を設定した。幼児の姿を多面的に捉える工夫として、週日案の形式の改善や週末に保育カンファレンスを行った。週日案では、遊びのつながりが分かりやすく複数の職員が書けるように罫線無くして空白にし、全職員でウェブ型記録をとった。記録する内容は、発達の過程の姿と捉え、温かいまなざしで記録していった。遊びの内容を○で囲み、教師の心に残ったことや心に響いたつぶやき、迷い、気づきを色分けして記入することで、幼児の思いや願いなどの読み取りも行った。週末にはそのウェブ型記録を参考にカンファレンスを行い、教師の捉え、願いを振り返った。そして、次週に向けて大事にしたい姿、ねらい、内容、環境の再構成、援助について整理し、週日案の作成につなげていった。カンファレンスで振り返った内容を生かし、多面的な見取りと共に、一人一人の幼児の姿に沿った活動内容や自ら関わりたくなるような環境構成、援助の改善につなげていった。

(成果)

- ・ウェブ型記録にしたことで、遊びの内容やつながりが図式化され、幼児の思いや願い、育つ過程を捉えやすくなった。
- ・幼児一人一人を丁寧に見つめることができ、幼児の姿を肯定的に捉えるようになった。
- ・幼児の姿を多面的に捉えられるようになり、幼児の姿に沿った指導計画を作成することができ、個々の成長が見られるようになった。週末に記録をもとに振り返り、幼児の姿を捉えて計画し実践するというサイクルを積み重ねていくことが幼児の育ちを支えていくために大切なことであるとわかった。
- ・カンファレンスの視点に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を加えたことで職員が同じ視点で振り返り、幼児の育ちの共通認識を図ることにつながった。

(課題)

- ・ 幼児の育ちに必要な体験につながっているかを見取っていくことが不十分だと気付いた。月案などの指導計画を念頭に置きながら日々の保育を行っていききたい。

2 協議内容

(1) 質疑応答

○見栄えのいいクモの巣状に無理につなげようとしていないか？そのことについてどう思うか。

- ・ つながっていると満足しがちである。無理につなげようとはしていない。

○目立たない子を見逃してはいないか。

- ・ 集団で遊んでいる子供だけでなく、一人で遊んでいる子供も気にかけるように職員間で連携している。

(2) グループ討議・全体共有等

【協議の視点】 幼児の発達に即して一人一人の幼児が幼児期にふさわしい生活を展開し、必要な体験を得られるように指導計画を作成するには、どのような工夫が必要か。

- ・ ウェブ型記録をすることで、一人一人をしっかりと見ていくことができるので、その時の情景が浮かびやすく次の指導計画につなげていくことができる。掲示しておくことで、職員の出勤に時差がある中でも誰もが記録することができるので、職員間で共有し易いのではないか。
- ・ ウェブ型記録は、遊びの中の子供一人一人の姿、思いを支えることにおいては有効だと思うが、文化、生活、習慣、伝統を伝えるというような指導計画にある項目をバランス良く織り込んでいく工夫が必要である。
- ・ 子供のありのままの姿をメモのようにすぐ書き込めること、職員間で共有できることが良い。

結論

1. ウェブ型記録は1つの方法である。大事なはその方法が園の理念と重なり合っているかどうかである。その理念と重ね合わせた時に、指導計画が実践に生きるものになっていなければ意味がないので、見直す必要がある。理念を考えることが難しい場合は、ウェブ型記録などの方法で子供中心の思考で考えていきながら、結果的に園の理念が達成されたところで、しっかり振り返りを行い、職員間で統一することができる。
2. この発表から学んだことを踏まえ、自園では何ができるだろうかと発想を転換することで新しいことを取り入れていくことができるようになるとうい。